

強い農業づくり交付金(産地競争力の強化)実施状況一覧

資料 2

平成24年度																				
No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H26稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H26目標値 (C)	H26実績 (D)	目標達成 状況		
1	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	仙北市	黒沢地区	農事組合法人中川ファーム クロサワ	(水稲) 乾燥調製施設 (処理量168t)	62,396	29,712	処理量 (玄米)  168t	209.9t	124.9%	H26	事業実施地区における下位等級指数を50%削減	(H23) 6.4%	(H26) 3.2%	3.2%	0.0%	200.0%	A	JA等主催の講習会参加や学習会の実施による栽培技術の研鑽、施設導入による色彩選別処理により、1等米比率は100%となった。 直接販売の取組については、前年より取引先が1社増加し合計7社になったが、1社当たりの取扱量が伸び悩み、ほぼ前年並の9,360kgにとどまり目標達成できなかった。 今後は、高品質米をPRしながら、観光客や農作業体験の生徒の受け入れを通じた販促活動を強化し、また仙北市やJAおぼこにおける首都圏等での商談会を利用しながら取引先の拡大を図り、直接販売取扱数量の増加に繋げ目標達成に努めたい。
													系統出荷から小売店や個人消費者等に対する直接販売の取組について、その取扱量の割合を30ポイント増加	(H23) 0.0%	(H26) 30%	30.0%	7.5%	25.0%	D	
														A	100%以上(目標達成)					
														B	80~99%					
														C	50~80%(改善指導対象)					
														D	50%未満(改善指導対象)					

平成24年度(繰越)																				
No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H26稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H26目標値 (C)	H26実績 (D)	目標達成 状況		
2	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	鹿角市	鹿角・小坂地区	株式会社ファー夢かつの	(水稲) 乾燥調製施設 (処理量290t)	98,711	47,005	処理量 (玄米)  290t	213.7t	73.7%	H26	10a当たりの労働時間を26.1%削減	(H23) 21.8時間	(H26) 16.1時間	16.1時間	14.7時間	124.5%	A	高齡化が進む事業実施地区において、JA出資型農業生産法人として条件不利地の農地集積や作業受託を行った結果、10a当たり労働時間を目標26.1%に対し32.6%削減できた。 下位等級指数については、昨年はカメムシ多発警報が発令されるほどカメムシが多発したこともあり、計画時より悪化している。今後は、JAと連携し、原因となるカメムシ防除について適期防除を徹底していくほか、施設の利用促進を行い色彩選別機の活用による下位等級比率の改善により目標達成を図りたい。
													事業実施地区における下位等級指数を50%削減	(H23) 4.5%	(H26) 2.25%	2.25%	11.3%	-302.2%	D	
3	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	大館市	あきた北地区	あきた北農業協同組合	(野菜(枝豆)) 農産物加工施設 (処理量495t)	386,544	184,068	処理量  495t	258.0t	52.1%	H26	10a当たり流通コストを22.4%削減	(H23) 105,014円	(H26) 81,424円	81,424円	82,313円	96.2%	B	施設導入により、労働生産性の向上と適期収穫による高品質で均一化されたえだまめ生産が実現し、市場評価の向上に繋がった。 しかし、面積は計画の110haに対し、91.7haに留まったことに加え、天候不順による収穫量の大幅な低下やべと病等の多発による品質低下で、反収は目標の450kg/10aに対し、279kg/10aと大きく落ち込み、利用率が低下した。 今後は、技術指導を強化し、単収向上と生産量増加を図り、加工業務用向けのコンテナ出荷等の増加により目標達成を図る。
													全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合を25ポイント増加	(H23) 17.7%	(H26) 42.7%	42.7%	27.0%	37.2%	D	
4	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	北秋田市	向黒沢地区	農事組合法人向黒沢ファーム	(水稲) 乾燥調製施設 (処理量260t)	55,689	26,518	処理量 (乾籾)  260t	257.4t	99.0%	H26	経営面積(水稲作付面積)のうち、持続農業法に基づく認定面積の割合を40ポイント増加	(H23) 0%	(H26) 40%	40.0%	52.6%	131.5%	A	持続農業法に基づく認定面積については、成果目標以上の取組の認定を受けることができ達成できた。 下位等級指数については、早生種「あきたこまち」は全量1等であったが、「ゆめおぼこ」において、8月の出穂後の日照不足により充実度不足となったため等級低下が多くなり、目標達成できなかった。 今後は、日照不足等の気象条件であっても高品質安定生産ができるよう基本技術を徹底し、下位等級指数の削減に努めたい。
													事業実施地区における下位等級指数を50%削減	(H23) 8.6%	(H26) 4.3%	4.3%	20.2%	-269.8%	D	

No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H26稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等		
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H26目標値 (C)	H26実績 (D)	目標達成 状況			評価	
5	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	潟上市 五城目町 八郎潟町 井川町	湖東地区	あきた湖東農業協同組合	(野菜(枝豆)枝豆選別包装施設(処理量108t))	93,037	44,303	処理量  108t	83.4t	77.2%	H26	上位規格品率の割合を12ポイント増加	(H23) 74.5%	(H26) 86.5%	86.5%	71.9%	-21.7%	D	26年度は8月上旬の集中豪雨の影響により品質が低下したほか、日照不足が登熟に影響したため上位規格品率が低下し、目標達成までは至らなかった。	組織経営体を中心に面積拡大を図りながら単収と上位規格品率の向上に向けた取組を強化した結果、面積の拡大及び産地全体として出荷量が200tを超え、H26は販売額1億円も達成できた。また、施設導入により、販売先の評価を高めたとともに品質劣化に伴うクレームが極端に低下した。しかし、上位規格品率は集中豪雨や日照不足により低下した。単位当たり労働時間は、調製作業の軽減により計画どおり縮減された。	
													単位面積当たりの労働時間を48.3%縮減	(H23) 102.2時間	52.8時間	52.8時間	47.6時間	110.5%	A	施設導入により、調製作業の労力が軽減され、単位面積当たりの労働時間は53.4%縮減された。	今後、更なる産地育成に向けて施設を有効活用し、品質の向上を図るとともに、1経営体当たりの面積拡大に努めたい。	
6	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	大仙市	大曲地区	秋田おぼこ農業協同組合	(水稲)品質向上物流合理化施設(処理量3,180t)	549,583	261,706	処理量(玄米)  3,180t	3,910.6t	123.0%	H26	品質分析の結果、食味値が改善されるとともにタンパク値が0.26ポイント低下、かつ分析結果を施肥等生産技術へ反映	(H23) 食味値 71.8 タンパク値 6.46%	(H26) 食味値 75.0 タンパク値 6.20%	75.0	72.9	34.4%	D	栽培管理カレンダーの全戸配布や「お米通信簿」の配布など、食味向上の周知活動により、食味値とタンパク値は年々改善してきているが、タンパク値は0.14ポイントの低下で目標達成までは至らなかった。	食味値とタンパク値については、生産者への栽培管理カレンダー全戸配布や「お米通信簿」の発行など食味向上の啓発を行った結果、年々改善されてきているが、目標達成に向けて、引き続き関係機関と連携しながら高タンパク値の生産者に対して濃密に指導するなど、底上げを図っていききたい。	
													事業実施地区における下位等級指数を50%削減	(H23) 11.9%	(H26) 5.95%	5.95%	4.1%	131.1%	A	土づくりの励行や生産技術向上に向けた取組により品質の高安定化を図るとともに、施設導入による色彩選別処理により、事業実施地区の下位等級指数は4.1%と事業実施前に比べて大きく改善され、削減率は66.5%となった。	下位等級指数については、土づくり肥料の散布拡大と生産技術向上による品質の高安定化を図るとともに、米の色彩選別処理を行った結果、大きく改善できた。また施設の集荷量も年々増加し、物流合理化と下位等級削減による品質向上に大きく寄与している。	
7	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	横手市	横手地区	秋田ふるさと農業協同組合	(水稲)乾燥調製施設の高度化(処理量2,100t)	417,733	198,920	処理量(乾籾)  2,100t	1,788.5t	85.2%	H26	重金属等の有害物質の低減に取り組む面積割合を36.2ポイント増加	(H23) 52.7%	(H26) 88.9%	88.9%	89.9%	102.8%	A	有害物質の低減に取り組む面積割合は、営農情報等でのカドミウム軽減の技術指導、巡回指導員による湛水管理の指導徹底、地区座談会等での啓発活動を継続したことにより、37.2ポイント増加した。	重金属等有害物質低減のための湛水管理の取組については、営農情報等での技術指導、巡回指導員による湛水管理の指導徹底、地区座談会等での啓発活動を継続して実施した結果、目標達成できた。	
													事業実施地区における下位等級指数を51.7%削減	(H23) 8.9%	(H26) 4.3%	4.3%	11.4%	-54.3%	D	下位等級指数は前年度の13.7%に比べて削減されたが、26年は例年よりカメムシ類の発生が多く、さらに防除時期の降雨により適期防除ができなかったこともあり、目標達成までは至らなかった。	下位等級指数の削減については、下位等級の主因であるカメムシ類の被害防止対策として、横手市・JA等で作成したパンフレット等を配布・活用し、適期防除、畦畔・農道等の適期草刈りの徹底を図ったが、防除時期の降雨等もあり目標には届かなかった。引き続き、カメムシ類防除の徹底を図っていききたい。	
8	産地競争力の強化に向けた総合的推進	24	横手市	十文字地区	農事組合法人越前	(水稲)共同育苗施設(処理量25,000箱)	97,291	43,940	処理量  25,000箱	25,068箱	100.3%	H26	10a当たり物財費を10.9%削減	(H23) 65,576円	(H26) 58,423円	58,423円	53,963円	162.4%	A	育苗培土購入のスケールメリットによる諸材料費の削減や軽油使用量の抑制による光熱動力費の削減などにより、計画時から11,613円、17.7%の削減となった。	当法人が育苗作業を一括して実施したことにより、徒長苗や苗のバラツキの発生を防止でき、健苗の安定生産・供給ができた。	
													10a当たり労働時間を26.7%削減	(H23) 19.33時間	(H26) 14.16時間	14.16時間	10.60時間	168.9%	A	また、労働時間については、育苗作業を一括して実施したことなどにより、45.2%の削減を行うことができ、削減目標を大幅に上回ることができた。	育苗作業(種子予措、苗代一切)について構成員個々から法人一括管理にしたことや、代掻き作業の回数減、基肥一発型肥料による追肥作業の軽減などにより、計画時から8.7時間、45.2%の削減となった。	なお、米価低落の状況により所得確保が計画通り見込めないため、肥料等の見直しを行うなど、より一層のコスト削減を図り、収支を改善させていきたい。
																			A	100%以上(目標達成)		
																			B	80~99%		
																			C	50~80%(改善指導対象)		
																			D	50%未満(改善指導対象)		